**平成30年度　精度管理センター事業について**

**資料８**

**（市町村がん検診事業にかかる個別支援を目的とした市町村訪問）**

1　経　緯

○第二期大阪府がん対策推進計画の個別目標であった精度の均てん化に向け、大阪がん循環器病予防センターに設置した精度管理センターにおいては、主に市町村からの相談に対し、精度管理システムを利用したプロセス指標の分析、課題の抽出などを個別支援として実施してきた。

○平成24年度の事業開始以降、支援市町村数は増加し、精検受診率の向上や個別受診勧奨実施市町村数の増加は認められるものの、支援していない市町村については、現状・課題の把握が困難な状況にある。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 年　　度 | 支援市町村数（訪問回数） | 年　　度 | 支援市町村数（訪問回数） |
| 平成24年度 | 10市（18回） | 平成27年度 | 17市町1地域（16回） |
| 平成25年度 | 13市町（20回） | 平成28年度 | 17市町2地域（18回） |
| 平成26年度 | 16市町1地域(18回) | 平成29年度 | 18市町2地域（24回） |

　　※訪問以外でも、電話、メールでの支援を実施している。

２　平成30年度からの新たな取組み（案）

○府内43市町村を平成30年度からの3年間で訪問する。

３　全市町村訪問の目的

＜がん検診の精度管理指標が良好な市町村について＞

○取組み状況を把握し、好事例の収集を行う。

＜精度管理に課題がある市町村について＞

○ヒアリングにより個別の課題を抽出や必要な支援について検討する。

○過去の支援実績がある場合は、今までの経緯を踏まえたうえ、現状に応じた支援を検討する。

⇒全市町村担当者からの意見や要望を集約することで、精度の均てん化の推進のために大阪府全体として取り組むべき課題を明らかにする。

４　ヒアリングの項目

○検診実施体制

○精密検査結果把握体制

○市町村が考える課題・解決のための障害

○個別受診勧奨実施状況

５　訪問後の取組み

　＜各市町村に対して＞

　ヒアリング結果を分析後、取り組むべき課題を抽出し改善に向けた助言を行う。

　＜府内全市町村に対して＞

　大阪府全体として取り組むべき課題を明らかにするとともに、好事例をまとめ研修会でフィードバックする等横展開を図る。